

管路工事完成図作成の手引き 抜粋

赤字：追加 青字：削除

管路工事完成図作成の手引き

令和~~8~~4年(20~~26~~22年)4月

川崎市上下水道局

6 各種作図について

(1) 布設工事

ア 位置図

内容は設計図面と同一とするが、これにより難い場合は次によること。

- (ア) 縮尺は1 / 10, 000とする。
- (イ) 方位は図面の上方を北とする。
- (ウ) 「水道配管図 1:5000」の図番(ページ番号)を、枠外上段に記載する。
- (エ) 「水道配管図 1:5000」記載の図郭線(メッシュ線)並びに図面名称(メッシュ名及び番号、例:川崎59)とともに、町丁名、地番(住居番号)、主要な施設、鉄道、道路、河川、その他目標となるものを記載する。
- (オ) 工事箇所は、引き出し線を用いた旗上げにより明示し、工事箇所が複数ある場合は工区番号も記載する。

イ 工事内容表

工事の施工内容を、以下の点に留意して記載する(表4参照)。

- (ア) 記載順及び内容は、設計書の工事概要に準ずる。
- (イ) 管類の名称は、「9 完成図等の管種名称表示」に準ずる。
- (ウ) 管類(布設延長等)の単位は「m」とする。
- (エ) 弁類(仕切弁、空気弁等)の単位は「基」とする。
- (オ) 栓類(消火栓等)の単位は「箇」とする。
- (カ) 排水設備等の単位は「式」とし、内訳を記載する。
- (キ) 既設管の撤去材を再使用した場合は、名称欄に括弧書で「再使用」と記載する。

(ク) 補助対象については、補助対象の延長または数量を記載する。

表4 工事内容表及び記載例

名称	口径	単位	延長又は数量
ダクGXpe	200	m	199.3
ダクKpe	200	m	1.9
ソフトシール仕切弁	200	基	2.0
単口消火栓	75	箇	2.0
ダクGXpe	100	m	882.2
ダクKpe	100	m	14.9
ソフトシール仕切弁	100	基	20.0
排水弁	75	//	1.0
単口消火栓	75	箇	7.0
排水設備 設置		式	1.0
(内訳) 排水管	75	m	3.9
仕切弁	75	基	1.0

名称	口径	単位	延長又は数量
ダクGxpe	200	m	199.3
			(内補助対象 100.0)
ソフトシール仕切弁	200	基	2.0
			(内補助対象 1.0)
単口消火栓	75	箇	2.0
ダクGxpe	100	m	882.2
ソフトシール仕切弁	100	基	20.0
排水弁	75	//	1.0
単口消火栓	75	箇	7.0
排水設備 設置		式	1.0
(内訳)排水管	75	m	3.9
仕切弁	75	基	1.0

ウ 平面図

- (ア) 縮尺は、1 / 1, 0 0 0とする。
- (イ) 方位は、図面の上側が北であることを基本とする。ただし、やむを得ない場合は上側を基準に左右90°以内の方向を北とし、必ず方位を明示する。
- (ウ) 地形の記載は次のとおりとする。
- a 地形は、最新の道水路台帳平面図に基づき記載する。
 - b 私道の場合は、道水路台帳平面図に記載の隣接道路との接合に十分留意し、設計図等の平面測量図に基づき記載する。
- (エ) 管路及び弁栓類等は、「**8 凡例(1) 平面図**」に従い記載する。ただし、特殊消火栓等、弁栓類の位置が管中心線と異なる場合は、別途断面図を作成する。
- (オ) 地形、管路のほか管種、寸法、布設延長(実測水平延長)、布設位置及び付属設備の位置等を記載する。また、道路の区別(国道・県道)、名称、舗装種別、河川名称(流水方向含む)、町丁名、地番(住居番号)、主要な施設、鉄道、その他必要な事項を記載する。
- (カ) 更生工事等の場合は、旗上げにより工事箇所を具体的に明示し、工事の始点と終点のオフセットがわかるようにすること。なお、必要に応じて別途拡大図を併記すること。
- (キ) 補助対象については、(補助対象) と記載する。

エ 配管図

- (ア) 工事始点から終点までの配管状態を、「**8 凡例(2) 配管図**」に従い記載し、使用品名、管種、口径、数量及び異形管の使用状態等を旗上げ

により明示する。ただし、管種については、ダクタイル GX 形または鋼管の場合のみ明示を省略することができる。また、既設管の撤去材を再使用する場合は、「再使用」と旗上げにより明示する。

(イ) 管製作及び現場接合工事（以下「製管接合工事」という。）については、配管に使用した材料の名称、数量、形状寸法及び摘要を内容とする材料内訳表を作成する。ただし、土木工事に管路材料を含んだ工事（業持ち工事）についてはこの限りでない。

(ウ) 製管接合工事については、旗上げまたは記号を用いて接合形式を記載する。なお、記号は JIS Z 3021（溶接記号）に準ずるものとし、それ以外の記号を用いる場合は、必ず凡例を記載する。

(エ) 補助対象については、補助対象と記載する。

オ 断面図

(ア) 縮尺は、1 / 100とする。

(イ) 水道管及び他企業の埋設管についての名称、形状寸法、占用位置、土被り等を、路線ごとに1箇所以上記載する。

(ウ) 内容は設計図面と同一とするが、布設工事と撤去工事とは別に作成し、施工または調査等により採取したデータについては、その現況を反映すること。

(エ) 補助対象については、補助対象と記載する。

カ オフセット図

別冊「オフセット図作成基準」による。

キ 舗装構成図

(ア) 縮尺は1 / 60以上とする。

(イ) 復旧道路構造について、その材質、寸法等を表示する。

(ウ) 施工が仮復旧までのときは仮舗装構成図とし、本復旧を行う企業者名を記載する。

ク 製作図

(ア) 製作管の形状寸法、塗装仕様、付属設備、切管位置等の詳細な図面を作成する。また、製作管、切断工、接合工等の数量一覧表を作成し、名称、形状寸法、数量及び摘要を記載する。

(イ) その他、局監督員の指示により記載する。

ケ 縦断図

(ア) 口径 500mm以上の布設工事の場合は、原則として作成する。

(イ) 縮尺は縦1 / 200、横1 / 1,000とする。

(ウ) 布設管路の地形の断面図に、管及び付属設備等の縦断状態を記載する。

(エ) 記載する事項は、測点、区間距離、遡加距離、地盤高、土被り、管勾配等である。

コ 詳細図

管または付属設備（仕切弁、消火栓、空気弁、排水弁及び室）の防護、その他の部分の詳細を記載する。

サ 配筋図

構造物の配筋状態を記載する。

シ 仮設図

特殊工事において、監督員の指示がある場合のみ記載する。

ス 側面図

伏越工、上越工、添架工、さや管、推進工、軌道下横断、水管橋等については、管及び付属設備の位置、形状寸法等を記載する。

10 完成図作成例

6 (1) 布設工事

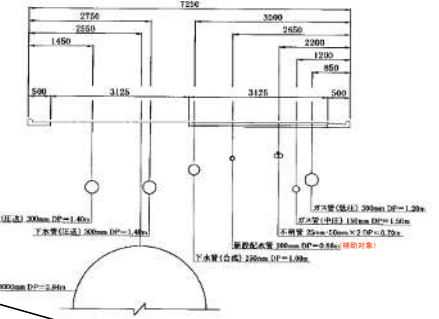
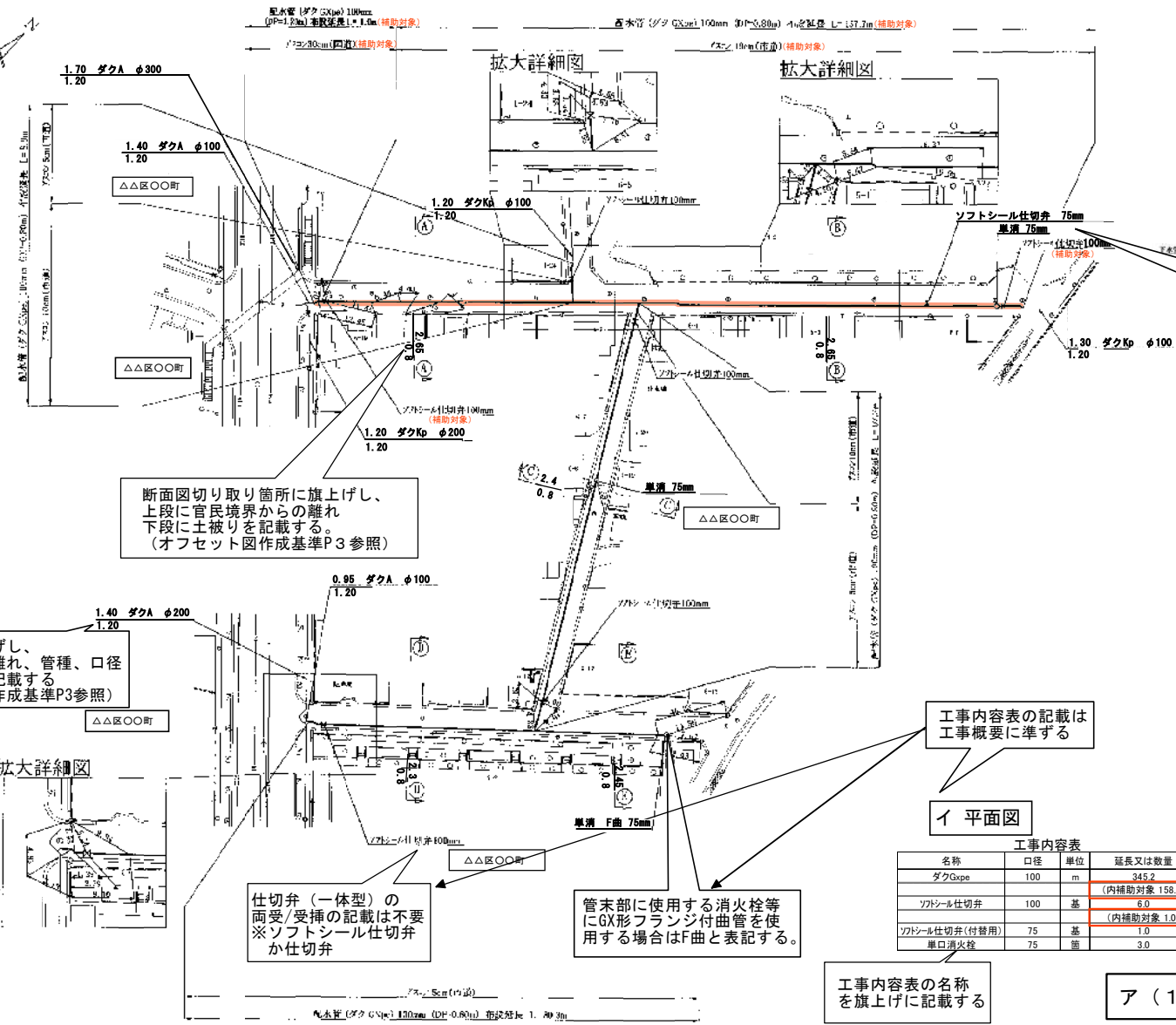
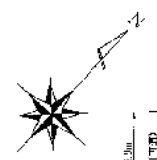
ウ 平面図

赤線部：補助対象

平面図① S=1/1,000

オ 平面図

①-①断面図 S=1/100



消火栓等はフランジ口径を記載 (円形) 等の記載は不要

断面図切り取り箇所に旗上げし、上段に官民境界からの離れ、下段に土被りを記載する。(オフセット図作成基準P3参照)

連絡箇所旗上げし、上段に既設管の離れ、管種、口径、下段に土被りを記載する。(オフセット図作成基準P3参照)

工事内容表の記載は工事概要に準ずる

イ 平面図

工事内容表		
名称	口径	単位
ダクGxpe	100	m
		延長又は数量
		345.2
		(内補助対象 158.7)
ソフトシール仕切弁	100	基
		6.0
		(内補助対象 1.0)
ソフトシール仕切弁(付替用)	75	基
		1.0
単口消火栓	75	箇
		3.0

仕切弁(一体型)の両受/受挿の記載は不要 ※ソフトシール仕切弁か仕切弁

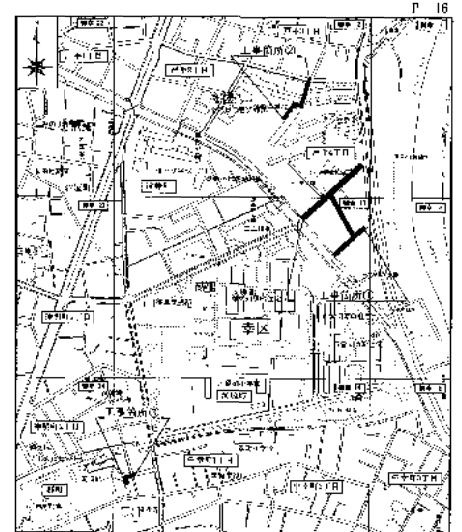
管末部に使用する消火栓等にGX形フランジ付曲管を使用する場合はF曲と表記する。

工事内容表の名称を旗上げに記載する

ア (1) 表題

ア 位置図

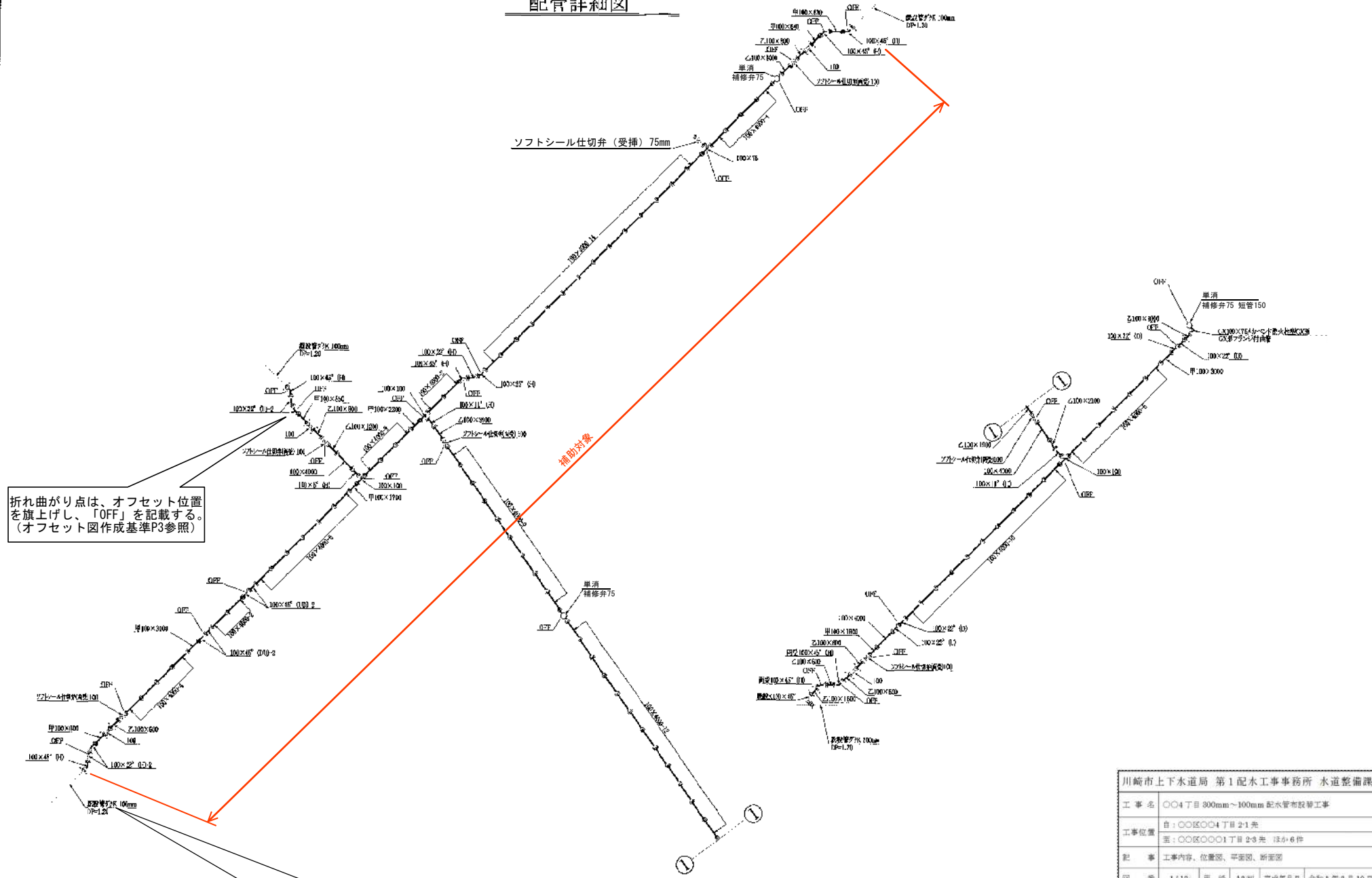
位置図 縮尺=1/10,000



川崎市上下水道局 第1配水工事事務所 水道整備課	
工事名	〇〇4丁目300mm~100mm配水管布設工事
工事位置	自:〇〇区〇〇4丁目2-1先 至:〇〇区〇〇1丁目2-3先 ほか6件
記事	工事内容、位置図、平面図、断面図
図番	1/13 用紙 A3判 完成年月日 令和5年5月10日
工事番号	504C123456
完成図監工業者	株式会社 〇〇〇〇〇工業

1. 管径以上の管種は、既設より山形、管径以下の管種は、床下より再生砂(0C-10)を使用。
2. 管種シートは、エコマーク認定品(幅100mm)を使用し、管径が100mm以上時は2枚重ねる。

配管詳細図



折れ曲がり点は、オフセット位置を旗上げし、「OFF」を記載する。
(オフセット図作成基準P3参照)

連絡箇所に旗上げし、上段に既設管の管種及び口径、下段に既設管の土被りを記載する。
(オフセット図作成基準P3参照)

川崎市上下水道局 第1配水工事事務所 水道整備課			
工事名	〇〇4丁目 300mm~100mm 配水管布設替工事		
工事位置	自: 〇〇区〇〇4丁目 2-1 先 至: 〇〇区〇〇1丁目 2-3 先 (ほか6件)		
記 事	工事内容、位置図、平面図、断面図		
図 番	1/13	用 紙	A3判
工 事 番 号	504C123456		
完 成 日	令和5年3月10日		
完 成 図 監 工 業 者	株式会社 〇〇〇〇〇工業		

